

名古屋大学地震火山研究センター2011年度年次報告会

日時：2012年3月23日（金）13：00-17：15

場所：名古屋大学環境総合館レクチャーホール（環境総合館1階）

13：00-13：10 センター長挨拶

13：10-14：50 2011年度総合成果報告

（講演時間15分・質疑応答5分）

座長 寺川寿子（タイムキーパー・会場係：小山真央・三宅淳司・安田健二）

13:10 2011年東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動

○鷺谷威・伊藤武男・渡部豪・松多信尚・奥田隆・堀川信一郎・小澤和浩・鈴木翔太

13:30 駿河-南海トラフにおける海底地殻変動モニタリング

○田所敬一・渡部 豪・永井 悟・安田健二・坂田 剛・江藤周平・奥田 隆

13:50 地震計アレイでみた2011年新燃岳噴火活動の推移

○山中佳子・中道治久・寺川寿子・奥田隆・堀川信一郎・山崎文人

14:10 アクロスの桜島への展開

○渡辺俊樹・山岡耕春

14:30 GPS観測網(AGNeSS)によるスマトラ断層の断層固着の空間変化

○伊藤 武男・木股 文昭

【休憩 10分】

15：00-16：00 ポスター発表（コアタイム）

P1 西南日本における超巨大地震について

○古本宗充

P2 M9巨大地震の発生を説明する地震発生サイクルモデル

○光井能麻・鷺谷威

P3 2011年東北地方太平洋沖地震の発生とアスペリティの階層的強度構造

○橋本千尋

P4 2011年東北沖地震における余効すべりの時空間分布

○鈴木翔太・伊藤武男

P5 2011年東北地方太平洋沖地震の直前に発生した電離層総電子数異常についての考察

○山本淳平

P6 空中写真の実体視判読に基づく2011年東北地方太平洋沖地震の津波浸水域認定の根拠

○杉戸信彦・松多信尚・堀 和明・石黒聡士・長谷川智則・鈴木康弘・

日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム

P7 3月12日長野県北部の地震に伴う地変と栄村周辺地域の活断層

- 松多信尚・杉戸信彦・廣内大助（信州大）・竹下欣宏（信州大）
- P8 地上 Lidar 測量による長野県・新潟県県境付近の地震に伴う新潟県十日町市松代の泥火山の隆起
- 松多信尚・早川裕弐（東京大）・堀和明・杉戸信彦・Kuo Yu-ting（台湾大）
- P9 SRTM を用いた実体視判読法とスマトラ断層のセグメンテーション
- 松多信尚・中田高（広島大）
- P10 災害予測に関する社会的要求水準と責任
- 鈴木康弘
- P11 三宅島における GPS（2011）観測について
- 奥田 隆
- P12 本年度に行った観測網、データ流通網の変更と現状について
- 堀川信一郎・奥田 隆・伊藤武男
- P13 ボアホール内に設置するシングルフォース型震源装置
- 山岡耕春
- P14 地震計アレイ観測からみた諏訪之瀬島火山の爆発的噴火過程
- 中道治久・青山裕（北大）・西村太志（東北大）・八木原寛（鹿大）・
太田雄策（東北大）・横尾亮彦（京大）・井口正人（京大）
- P15 バーゼル地熱貯留層での間隙流体圧分布の推定
- 寺川寿子・Stephen Miller（University of Bonn）・Nicholas Deichmann（ETH Zürich）

【休憩 15 分】

16：15 – 17：15 木股文昭教授最終講義
座長 鷺谷威（タイムキーパー・会場係：大藪竜童・坂田剛・丹原 裕）

講義題目： 二万人の視線を感じながら次の巨大地震に備える

○木股文昭

18：00 – 20：00 送別会・懇親会（於 花の木）